

# いしばし 清孝 石橋きよたか 県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 植木輸出に県の支援を要望!

### 県とジエトロ 一体で促進を 海外見本市への出展支援も

今年2月県議会で地域の課題を訴えたばかりの石橋清孝(いしばし・きよたか)県議11東金市選出、4期目11は、12月定例県議会で再び一般質問に登壇し、植木の海外輸出に対し県の支援を強く求めたほか、東金市と九十九里町で建設する東千葉メデイカルセンターの運営問題などを取り上げ、地域の声をしっかりと県政へ届けました。

#### 東金市特集

石橋県議は、植木の輸出についての質疑の中で、県とジエトロ(日本貿易振興機構)が一体となって、県植木共進会に見本市を兼ねて海外のバイヤーを招くなどPRに努めるよう、県の協力を重ねて要望しました。石橋県議の主な質疑を特集しました。



2月議会に続いて登壇した石橋清孝県議

12月県議会一般質問に登壇

近年、八日市場から東金にかけての植木生産者は中国への主にマキ類の輸出により、植木の造形美術が復活するなど、生産者に活力を与えています。また、植木を輸出するため、海外で好まれる樹種の情報収集や育成などに取り組んでいるところ。そこで伺います。植木類の輸出に、県はどのような支援を行っているのか。

農林水産部長 国内需要が低迷する中で、植木類特にマキやキヤラなどの造形木は、中国やEUなど海外で大きな需要が期待される本県の重要な輸出品の一つです。県では、海外ニーズの把握や輸出に対応できる生産技術の確立及び国際市場でのPR活動への支援など、輸出拡大を図っています。

石橋議員 植木類の輸出額の推移はどのようになっているのか。  
農林水産部長 県の推計では、平成16年の本県の植木輸出額は2千万円程度でしたが、北京オリンピックの開催による中国の需要増などから急増し、平成19年には20億円に達しました。その後、しばらくは横ばい状況でしたが、経済発展の著しい中国、ベトナム、香港などへの輸出の増加により、平成23年には28億円に達し、全国の植木輸出額の4割を占めるに至っております。

見本市への参加の方法や商売に結びつける方法を、県とジエトロが一体となって、植木の生産者の意見を聞きながら、植木の輸出振興すれば、まだまだ市場はアジアのほかヨーロッパや中近東など無限にあります。

石橋議員 オランダのフエンロー市で開かれた国際園芸博覧会に、日本のブースが開設され、千葉県からも出展されるとのこと。県議会の同僚議員とともに視察してまいりました。日本のブースは、屋内展示部門で金賞をいただいたとのこと。

全国的4割が千葉県産  
千葉県植木共進会における植木類の販売を充実させ、見本市を兼ねた海外バイヤーを呼び込むなどPRし、共進会を盛り上げたいと思っておりますので、県の協力をお願いいたします。

具体的には、(1)植木類の輸出ビジネスに精通している輸出サポーターによる助言やジエトロなど関係機関から収集した情報の提供(2)各国の検疫に対応可能な防除技術の開発や輸出に耐えられる長期輸送技術の実用化(3)生産者団体などが行う海外市場の需要調査や海外見本市への出展支援など、植木類の輸出拡大へ向けた支援を行っています。

●県政と東金市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

石橋きよたか 県議事務所  
〒283-0005 TEL.0475(52)1588  
東金市田間174-2 FAX.0475(52)1598

# 26年4月待望の部分開院へ

## 医師、看護師も確保へ

石橋議員 東金市と九十九里町が設立した東千葉メディカルセンターは、建設も順調に進んでおり、平成26年4月には、病床数や診療科目を絞ってですが、開院できる見通しと聞いています。県のこれまでのご支援に感謝いたします。そこで、東千葉メディカルセンターの平成26年4月開院時の診療科目等の状況はどうか。

保健医療担当部長 東千葉メディカルセンターは、救急医療・急性期医療を核とした救命救急センター併設の地域の中核病院として、救急病床20床を含む314床、22診療科で運営される計画になっています。

平成26年4月には、救急病床を含む146床、救急医療に關係の深い内科、外科、救急科、麻酔科をはじめとする14診療科で部分開院する予定と聞いています。

なお、部分開院時の医師については30名、看護師は129名の確保を計画しており、現在、人員確保が進められています。

### 12月県議会一般質問から



自席から要望を述べる石橋県議

# 東千葉メディカルセンター 救命救急医療の赤字負担策求め!

## 赤字負担、県も検討を

石橋議員 3次救命救急センターを現実的に運営している団体などが、連合して周辺自治体に負担を求めた場合、県の考え方はどうか。

保健医療担当部長 救命救急センターの赤字の負担を、周辺自治体に求めることは、原則として、運営する自治体と周辺自治体の相互理解のもとに行われるべきものと認識しております。

救命救急センターは、他の診療部門に比べ、心筋梗塞や脳卒中などの重篤救急患者を24時間体制で受け入れるために、待機する医師・看護師等の人件費をはじめ、検査や治療等で使用する医薬品などに費用がかかる傾向にあります。

救命救急センターを運営する病院から提出された実績報告によると、平成23年度における自治体病院で運営する4カ所の救命救急センターの赤字額は、少ないところでは約5千万円、多いところでは約5億円となっています。

## 議員の海外交流積極的に

石橋議員 県は、海外の姉妹都市などと定期的に交流しているが、議会も積極的に海外交流を行うべきだと思います。議会としての海外交流のあり方について、県はどのように考えているのか。

森田知事 県民の代表である県議会議員の方々が、海外交流を通じて先進事例などの視察や調査、現地の方々と意見交換などを実施されることは、大変意義のあることと考えています。そして、海外交流によって得られた知見を踏まえ、県政にご提案をいただき、ともに千葉県の発展に取り組んでいかなければならないと思います。

私も、ドイツでは石橋議員が団長として、本当にご活躍されたと聞いています。私たちは両輪でありますから、ぜひこれは実行してまいります。ぜひお力をお貸しください。

## 芸術・文化振興で 小中高教育に県の助成を

石橋議員 超党派の議員でつくる芸術文化議員連盟では、来年度の予算に反映してもらおう芸術や文化に関する要望書を、知事及び教育長に提出しています。

芸術や文化は、人を人間たらしめている基本的な要素です。文化関係に重点的に予算配分されることを望みます。

そこで、伺います。県の代表として、国レベルの文化あるいはスポーツ大会へ出場する公立小中高への県の助成はどうか。

教育長 県教委では、全国高校文化連盟や日本中学校体育連盟及び全国高校体育連盟などが主催する全国大会に、千葉県を代表して参加する学校に対しては、大会参加に係る交通費、宿泊費、楽器の輸送費などの一部を助成しています。

今後これらの大会に参加する子供たちのために、引き続き助成制度の維持に努めてまいります。

石橋議員 小学校で伝統芸能や演奏など、本物に触れる機会を与えるべきだと思いますが、どのような制度があるのか。

教育長 県では、一流の音楽家の演奏を鑑賞する「学校音楽鑑賞教室事業」や華道や茶道、歌や楽器の専門性をもった指導者を招く「特別非常勤講師配置事業」などを実施しています。

また、能や邦楽、管弦楽などを鑑賞する「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」の活用も図っています。

今後、これらの制度を有効に活用し、本物の伝統芸能や演奏などに触れる体験を大切に教育を進めてまいります。

### 要望

救命救急センターはすべて赤字であり、国の交付金により運営補助が行われている中、周辺自治体との話し合いや思いやり予算的措置されることが望ましいことは分かっていますが、実態として赤字は運営している自治体の負担となっています。赤字が受診制限に結びつかないよう、県も一緒に考えていただきたい。



ドイツ視察した際、森田知事と語る石橋県議